



この春の良き日に186名の新入生の皆さんをお迎えできることを大変嬉しく思います。

そして、本日ご来校を賜りましたご来賓の皆様には厚く御礼申し上げます。

また、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、心からお祝い申し上げます。

中学3年間は保護者の方々におかれましても、さまざまな思いの詰まった日々であったと存じます。その日々を越えて、本日、お子様が、また新たなステージの幕を開けた喜びを、みなさまと心に刻み、これからのお子様の成長のために、ともに進んでいきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

改めて新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。現代は、変化が加速度的に増している時代です。そして、すぐに「役立つもの」を求める傾向のある時代となっています。しかしその「役立つもの」は技術の進歩とともに大変な勢いで変わり、常に常に新しいものが生まれ、無くなっていく時代でもあります。

そういう時代だからこそ、「簡単になくならないもの」を見極め、自分のものとする事が大切なのではないのでしょうか。常に新しいものを追い、捕まえたと思ったら間もなく無くなっていく。この繰り返しでは疲れるばかりです。では、「簡単になくならないもの」。それは、どのようなものがあるのでしょうか。たとえば、努力して習得したもの、習慣となったこと、これは簡単にはなくならないものです。

本校の校訓「着実に努力」は何か古いことばのように感じるかもしれませんが、着実に努力を重ねることのできたことは、お金や物と違って皆さん自身の中に生きて、なくならないものです。

「本当に大切なことは目に見えない」。このように考えると、加速度的に変化が続くこの時代だからこそ、「着実に努力」は実は大切な価値となると思うのです。

どのような時でも地道な努力を尊び「本当に大切なこと」「自分の中に生きつづけるもの」をこの高校時代に作ってほしいと思っております。

そのために、皆さんのために山北高校は存在し続けているのです。

そうはいっても「努力しつづけること」は時にはつらいこともあるでしょう。そこで、皆さんには入学のお祝いに魔法の言葉を一つ、お伝えしたいと思います。それは、「面白い」という言葉です。困難なことにあたった時、「面白い」とまず言ってみましょう。その困難さを、違う角度から見たり、工夫したりすると以外にも必ず「面白い」ことが見つけられます。探してみてください。なかなか見つけられなくても授業、部活動、学校行事など山北高校の教育プログラムを一つ一つ経験していくことで「面白いこと」の種が見つかります。不安に思うことはありません。先生がいます。先輩もいます。そして、皆さんには、今日、出会った大切な仲間もいます。

今、世界では心悼む出来事が起きていますが、ここ山北高校で、「いつの時代にも変わらないこと」を自分の中に育ててください。そのために山北高校では学校教育目標として「自他を思いやる力」「挑戦する力」「協働する力」「未来を切り拓く力」そして「伝わる力」を掲げ、育て、これからの時代をより良く「生き抜く力」につなげていきます。

皆さんが入学した山北高校は、昭和十七年、戦争のさ中、山北町の人々の熱意によって創立した言わば「伝統校」です。今年度は創立八十年を祝う記念事業も開催されます。現代の山北高校は「二灯流の学校」として進み始めています。それは、「部活の山北」「スポーツの山北」と認知されている伝統性と、文部科学省の指定研究を完了し、山北町と協働して推進している「探究学習」という新しい教育手法との「二灯流」です。

八十一年目から未来へ。皆さんとともに山北高校のこれからの伝統を紡いでいきたいと思っています。

この山北高校の生徒として、誇りを持ち、充実した学校生活を送ることを期待しています。

入学、おめでとう。